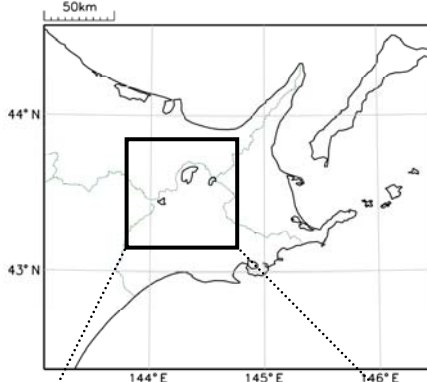


6月4日 網走地方の地震

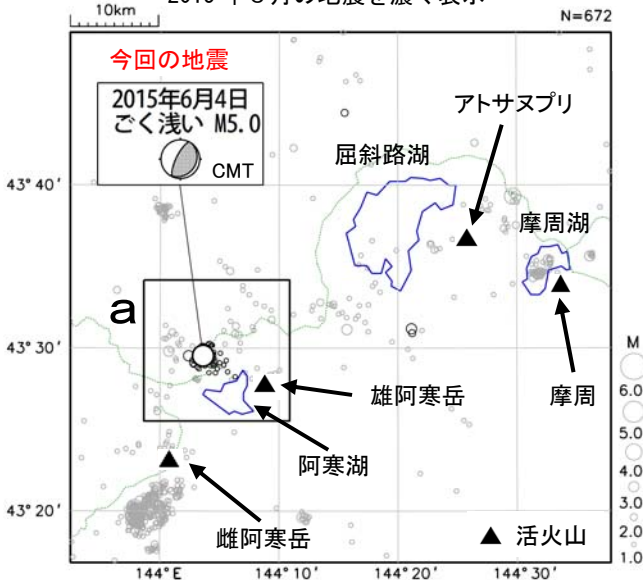
情報発表に用いた震央地名は〔釧路地方中南部〕である。

北海道東部の地図



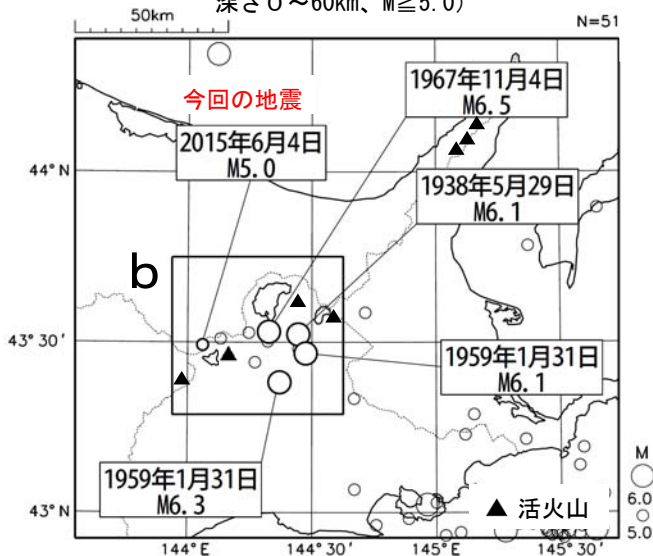
震央分布図

(2001年10月1日～2015年6月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 1.0$)
2015年6月の地震を濃く表示



震央分布図

(1923年1月1日～2015年6月30日、
深さ0～60km、 $M \geq 5.0$)

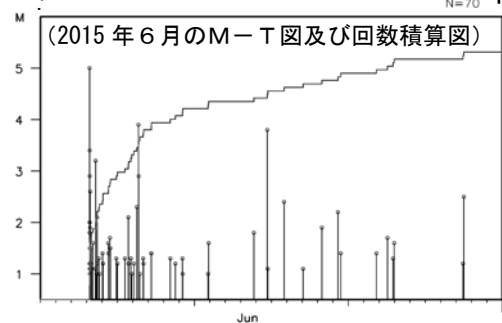
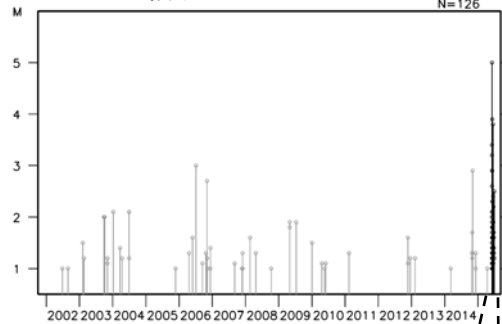


2015年6月4日04時34分に網走地方のごく浅い場所でM5.0の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震の後、震度1以上を観測した余震が12回（震度3：3回、震度2：4回、震度1：5回）発生している（6月30日現在）。

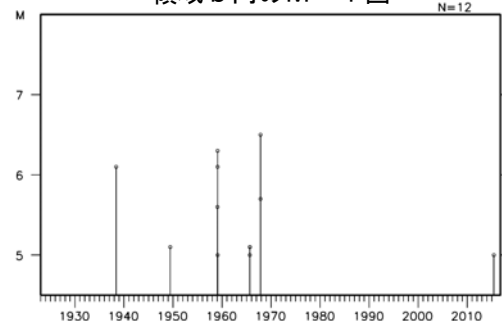
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M4.0以上の地震は初めてである。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではM5.0以上の地震がしばしば発生していたが、1968年以降はM5.0以上の地震は発生していなかった。1938年5月29日に発生したM6.1の地震（最大震度5：区内観測所による）では、死者1人、家屋倒壊5棟、半潰2棟、破損36棟などの被害が生じた。なお、この地震により屈斜路湖では小津波と思われる高さ90cmの水位変化があった（被害と水位変化は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図

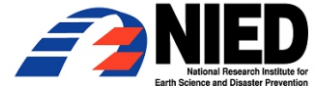


領域b内のM-T図



2015年6月4日北海道網走地方の地震

- 本震は阿寒湖の北西4kmに位置し、深さは2kmと浅い
- 発震機構解は逆断層型を示し、北西-南東方向の圧縮軸を持つ



2015年6月4日4時34分頃に北海道網走地方を震源とする M_{JMA} 5.0の地震が発生し、北海道釧路市で最大震度5弱の揺れが観測された。本震は阿寒湖の北西約4kmに位置し、深さは2kmと浅い。この地震の発震機構解は逆断層型を示し、北西-南東方向の圧縮軸を持つ。

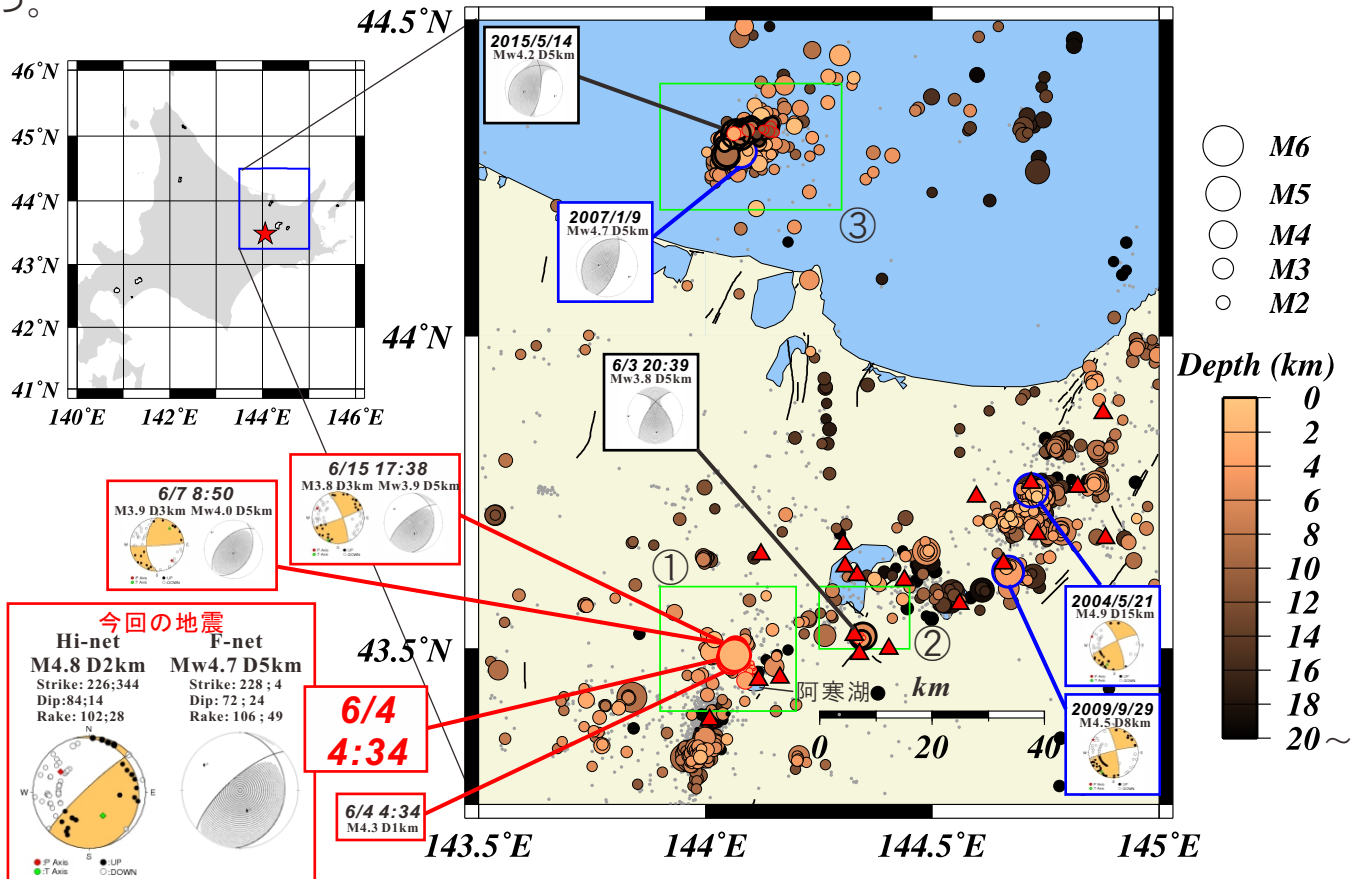


図1 Hi-netによる震源分布(期間2001/1/1から2015/6/30まで 深さ0km~50km)。M1.5以上の地震を深さによって色分けし、M1.5未満の地震は灰丸で示す。2015年5月1日以降に発生した地震を黒太線で囲み、本震発生日(6/4)以降に発生した地震を赤丸で囲む。この領域で2001年以降に発生したM4.5以上の地震を青丸で囲む。Hi-netによるP波初動解(橙色)およびF-netによるMT解(灰色)を合わせて示す。赤三角は第四紀火山を示す。

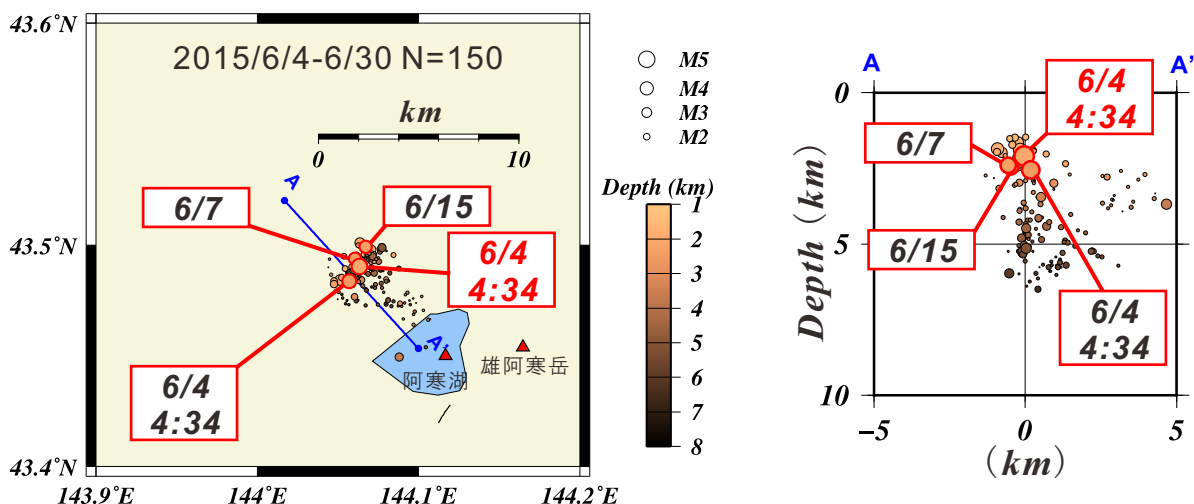


図2 図1中領域①内の地震(2015年6月4日から30日まで)をDD法によって再決定した震源分布(左)およびA-A'に沿った深度断面図(右)。

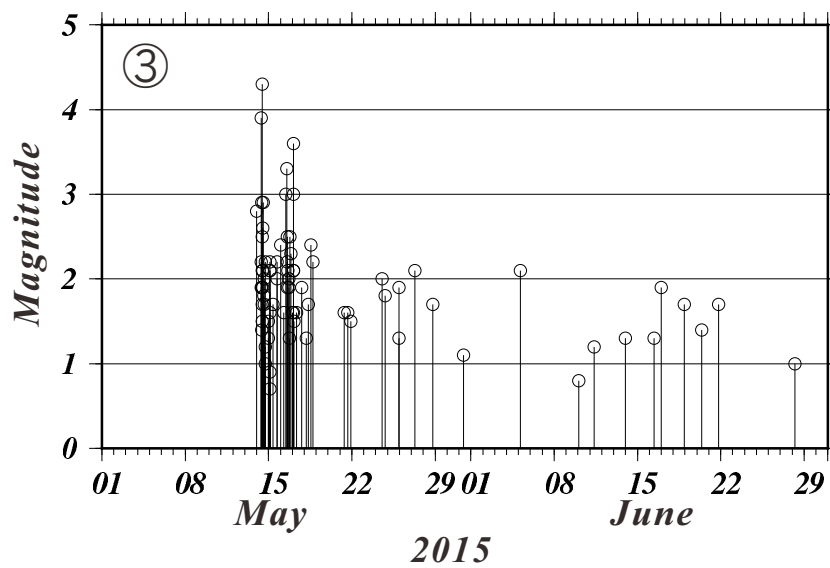
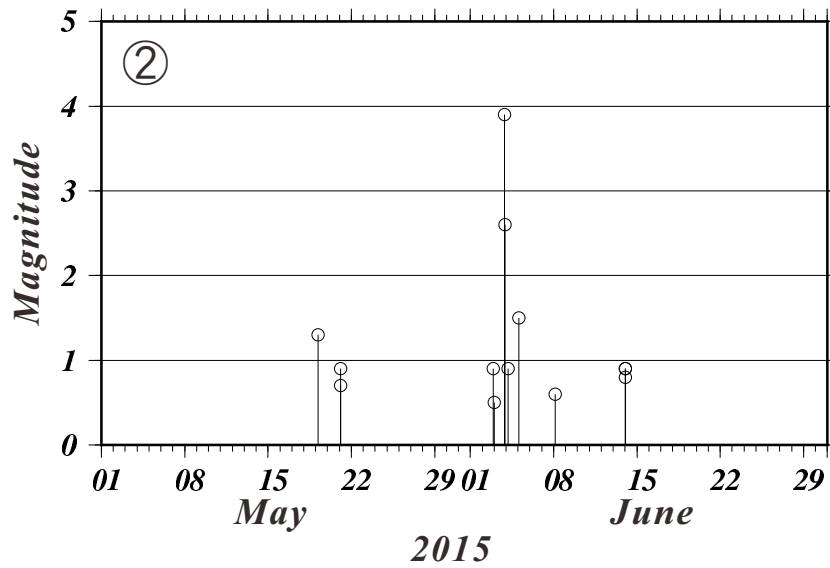
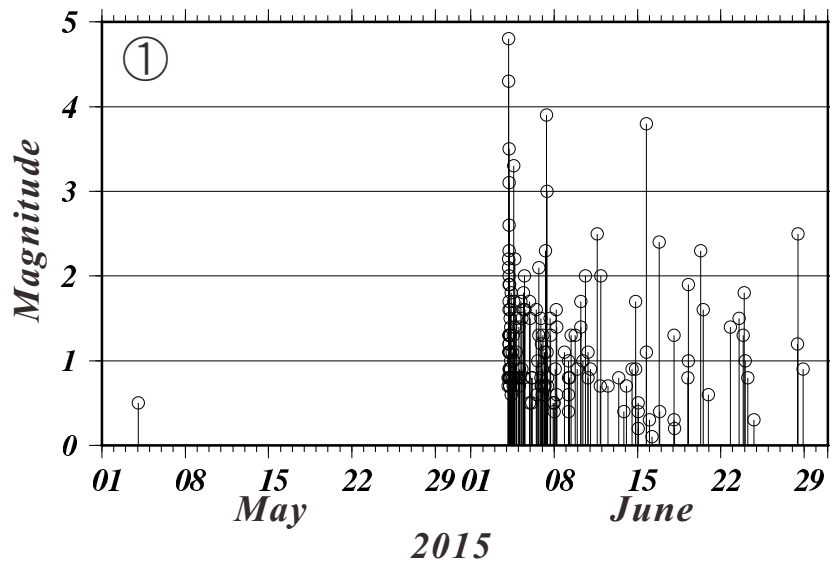


図3 図1中の領域①～③のM-T図。期間は2015年5月1日から6月30日まで。但し、自動決定震源も含む。